

# DX時代の 眼科診療革新

— 画像鮮明化アルゴリズム“MIer-テクノロジー”を検証する —

日時：2023年10月8日(日) 11:50 ~ 12:50

会場：第1会場(東京国際フォーラム4F ホールC)

本学術集会のランチョンセミナーは整理券制です。

配布場所：東京国際フォーラム 東京国際フォーラム 地下1F ロビーギャラリー

配布日時：10月8日(日) 7:00~11:20



眼科臨床において画像情報はとくに重要であり、高品質で鮮明な画像映像は極めて有用な手がかりとなる。しかし、光源不足や過露光、散瞳状態、デフォーカスなどによって画像映像が不鮮明となり診察・診断・治療の妨げとなることもしばしばである。

このような外部条件の不良による不鮮明画像を鮮明に“みえる化”させる国産技術が近年注目されている。画像映像が持つ本来の姿を補完や予測を使わずに算術的に可視化する技術で画像鮮明化アルゴリズム“MIer-テクノロジー”として様々な形での医療展開が始まっている。

今セミナーではこの“MIer-テクノロジー”について「緑内障診療への応用」、「診察室における活用」、「画像鮮明化技術の定量的評価」の3つの視点からスペシャリストの先生方に解説頂く。画像鮮明化技術がDX時代の眼科診療にどのような変革をもたらすかを共有できれば幸いである。



座長：大鹿 哲郎 先生 / 筑波大学

## 演者



画像鮮明化技術の緑内障診療への応用

森 和彦 先生

バプテスト眼科長岡京クリニック



診察室における画像鮮明化技術の活用

荒井 宏幸 先生

クイーンズアイクリニック



画像鮮明化の定量的評価

井上 真 先生

杏林大学